

地下水学会誌 投稿規定

平成 16 年 7 月 30 日一部改正

平成 16 年 9 月 11 日一部改正

平成 20 年 3 月 15 日一部改正

平成 20 年 12 月 22 日一部様式変更

平成 23 年 12 月 3 日一部改正

平成 26 年 3 月 15 日一部改正

平成 29 年 1 月 10 日一部改正

1 投稿者の資格 日本地下水学会誌（以下、本誌）に投稿される原稿の筆頭著者は、公益社団法人日本地下水学会（以下、本会）の個人会員でなければならない。なお、編集委員会からの依頼原稿の場合はこの限りではない。

2 原稿の受付・採否・掲載 投稿原稿は、本会事務局で受け付け、編集委員会が当該原稿の査読を専門家に依頼し（付記参照）、投稿者に必要に応じ修正・加筆を求める。編集委員会は最終的に受理可・不可を決定し、可となったものに対し受理通知を出すとともに、掲載予定を知らせる。

3 著作権 本誌に掲載された著作物の著作権（著作権法第 27 条、28 条に定める権利を含む）は本会に属する。

4 投稿原稿の種類 本誌の掲載原稿は下記のように分類される。投稿者は自分の原稿の種類を指定して投稿を行う。

「巻頭言、論説、論文、短報、技術報告、討議、資料、地下水を語る、誌面講座、ワンポイント誌面講座、訪問記、名著を読む、新技術紹介、書評、抄録、すぶりんぐ、ニュース、学会活動報告」

「巻頭言」：学会誌の巻頭において広く地下水に関連して会員の参考となる見識や意見を表明したもので、編集委員会からの依頼によるもの

「論説」：大局的視野から地下水学の学問的・技術的・社会的動向につき論じ、将来の方針を示そうとするもの

「論文」：地下水学に関するオリジナルなもので、他の学会誌、論文集、単行本、その他で掲載されたことのないもの

「短報」：速報として価値のある内容を含む未発表の短い論文に相当するもの

「技術報告」：地下水学における現場での計測、各種問題の考察、実験や解析に関する技術的考察

「討議」：本学会誌に掲載された論文、短報、技術報告等に対して討論するもの（受付期間は論文発行日から 1 年以内とする）

「資料」：地下水に関する最新の情報、データなどを含むもの

「地下水を語る」：地下水に関する経験を基にした随筆、随想、回顧録など

「誌面講座」：地下水学の実況・普及に寄与する新しい技術の紹介・用語解説など

「ワンポイント誌面講座」：読みきり型、或いは数回連続の知識・技術などの伝授を目的としたもの

「訪問記」：地下水に関する興味深い場所や研究機関などの紹介

「名著を読む」：地下水学の基礎を築いた主要な論文の解説

「新技術紹介」：近年開発された、あるいは開発されつつある地下水に関する新しい技術の紹介

「書評」、「抄録」：地下水学関係の内外図書・論文についての紹介・批評

「すぶりんぐ」：会員間の意見・情報交換を目的としたもの

「ニュース」：本会ならびに内外の地下水学関係の記事

「学会活動報告」：本会委員会活動などに関する報告

5 原稿の長さ 原稿の長さは下記のとおりとする。なお、刷上り 1 頁の目安は 1,800 字である。超過した頁（図・表・写真を含む）の費用は著者負担とする。負担費用は付記を参照のこと。

「論説」、「論文」、「技術報告」：刷上り 10 頁以内

「短報」、「資料」、「地下水を語る」、「名著を読む」：刷上り 6 頁以内

「誌面講座」、「ワンポイント誌面講座」：刷上り 8 頁以内

「巻頭言」：刷上り 2 頁以内

「訪問記」、「新技術紹介」：刷上り 8 頁以内

「討議」、「書評」、「抄録」：刷上り 1 頁以内

「すぶりんぐ」、「ニュース」：刷上り 2 頁以内

6 要旨・キーワード 原稿には、和文・英文の表題と著者名・著者所属名を記載すること。また、論文、短報には和文・英文要旨とキーワードを付けること。論説、技術報告には和文要旨とキーワードをつけることとし、英文要旨については任意とする。なお、和文要旨は 300 字以

内とし、英文要旨は150語以内とする。キーワードは4～7語とする。

7 原稿用紙 原稿はA4判とする。文書作成ソフトウェア等を使用して作成し、和文の場合は1行30文字で1頁30行、英文の場合は12ポイントで1頁30行とする。

8 投稿手続 「論説」、「論文」、「短報」、「技術報告」、「討議」、「資料」、「誌面講座」、「ワンポイント誌面講座」、「訪問記」、「名著を読む」は、原則として別記する本誌ウェブ投稿審査システムにて受け付ける。投稿後、編集委員会より著者に受付完了をメールで通知することにより、投稿の受付とする。上記に含まれない原稿については、著者は作成した原稿を学会事務局にメールで送付し、学会事務局から著者に受付完了をメールで通知することにより、投稿の受付とする。なお、投稿原稿は別途定める執筆要領に従って作成すること。上記の方法で投稿できない場合は、学会事務局を通じて編集委員会に問い合わせること。

9 原稿の修正 編集委員会は、本文・図・表の修正・加筆をもとめることができる。この場合、原則として筆者が書き直しをする。ただし、編集委員会が必要と認めるときは、編集委員会の責任で書き直すことがあり、要した費用は投稿者の負担とする。

10 受理原稿の校正 初校は、原則として著者に送付する。受領後は速やかに校正し、郵便書留もしくは宅配便サービス等を利用して返送すること（締切日必着）。なお再校以降は編集委員会が行う。

11 別刷 「論説」、「論文」、「短報」、「技術報告」、「資料」、「地下水を語る」、「誌面講座」、「ワンポイント誌面講座」、「訪問記」、「名著を読む」に限り、別刷50部とPDFファイルを無料で著者に送付する。50部を超える部数の別刷については著者負担（付記参照）とする。なお、著者負担（付記参照）において別刷に表紙を付けることができる。

12 原稿の書き方 原稿の書き方は、別に定める執筆要綱に従うこと。

13 その他 その他不明な点は、編集委員会に問い合わせること。

付記

(1) 査読

「論文」、「短報」は、二名以上による査読を行う。

「論説」、「技術報告」、「資料」、「討議」、「新技術紹介」は、一名以上による査読を行う。

なお、上記に含まれない原稿については、専門家による査読に代えて編集委員会が精読を行う。

(2) 超過頁代金 10,000円/頁（なお、規定の2倍以上の超過部分は20,000円/頁）

(3) 別刷代金

追加部数	表紙なし	表紙あり
50	6,000円	7,500円
100	11,250円	14,250円
150	15,750円	20,250円

(4) カラー印刷代金（著者負担）

刷り上がり 1～4頁：30,240円

刷り上がり 5～8頁：60,480円

(5) 電子投稿審査ウェブサイト

<http://www.editorialmanager.com/jagh/>

地下水学会誌 執筆要綱

平成 15 年 12 月 13 日一部改正

平成 20 年 12 月 20 日一部改正

平成 23 年 12 月 3 日一部改正

平成 26 年 3 月 15 日一部改正

1 表題

1) 表題をつける。すでに関連した口頭発表などがなされている場合は、右肩に*（アスタリスク）をつけ、脚注に発表した学会・日付などを記載する。

2) 著者名を全員記入する。各著者名には右肩に数字を付ける。

3) 上記肩付き数字にあわせ、所属機関名を脚注に記す。なお、英文要旨を書く場合は、所属機関名英語表記も併せて記す。

2 本文

1) 和文はひらがなと漢字による口語体で書き、現代かなづかいを用いる。句読点は「、。」とする。英文で原稿を執筆する場合には、著者の責任で適切な校閲を受けた原稿を投稿すること。

2) 漢字は常用漢字とする。ただし、固有名詞や慣用語はこのかぎりでない。

3) 固有名詞や漢字で難読なものには、カタカ

ナでルビをふる。

- 4) 外国語、外来語にはカタカナを用い、学名・人名・地名・術語に限り、必要な場合は原語を使用することができる。
- 5) 数字は、アラビア数字を用いる。
- 6) 数式は、文字の大小、数字が明瞭に区別出来るように書く。特に、上ツキ、下ツキ、大文字、小文字、イタリック体などが明瞭にわかるように注意して書くこと。
- 7) 数量の単位は、原則としてSI単位を用いる(例: m, kg, m³/s)。なお、地下水学で慣用的に使われる単位についてはそれを使うことは妨げない。
- 8) 年号は西暦を用いる。
- 9) 文章の書き出しおよび改行は、一字下げで書き始める。
- 10) ページ番号と行番号を付ける。

3 参考文献

- 1) 本文中での文献の引用は、著者姓(出版年)または(著者姓, 出版年)とする。複数の同姓の著者が2名以上引用されている場合は、著者名を完記する。3名以上の共著文献の場合には、筆頭著者の姓に次に「ほか」または「et al.」を付け省略した形とする。

例:

Toth (1963) によれば……, 半谷・小倉 (1985) によれば……, ……である(蔵田ほか, 1958 柴田, 1986; Domenico and Schwartz, 1990; Tyler et al., 2000)。

- 2) 本文末尾の参考文献リストは、和文のものを先にして著者名を五十音順に、その後英文のものを著者名のアルファベット順に並べ、「著者名(発表年): 表題. 掲載誌, 巻数(号数), はじめのページ-終わりのページ。」とする。同一著者ものは年代順に並べる。同一著者の同一年の2つ以上の文献を引用する場合には、引用順に年に a, b, c を付して並べる。例えば 1992a, 1992b など。

例:

蔵田延男・安藤 武・森 和雄 (1958): 東京都城南工業用水源小規模地域調査報告一関東西部地域調査第6報一. 地調月報, 6 (8), 9-22.

柴崎達雄(1986): 地下水. 山本荘毅編, 陸水. 共立出版, 260-299.

半谷高久・小倉紀雄 (1985): 水質調査法 改訂2版. 丸善, 378p.

ヘフス, J. (和田秀樹・服部陽子訳) (2007): 同位体地球化学の基礎, シュプリンガー・ジャパン, 383p.

Domenico, P.A. and Schwartz, F.W. (1990): Physical and Chemical Hydrogeology. John Wiley & Sons, 336p.

Toth, J. (1959): A theoretical analysis of groundwater flow in small drainage basins. Journal of Geophysical Research, 68(16), 4795-4812.

Tyler, B.C., Herczeg, A.L. and Barnes, C. (2000): Isotope engineering – Using stable isotopes of the water molecule to solve practical problems. In Environmental Tracers in Subsurface Hydrology, Cook, P. and Herczeg, A.L. (Eds.), Kluwer, 79-110.

- 3) ウェブページは引用可能であるが、原則として公的機関による文書やデータベース等、公共性が高い情報に限定する。また発行年の代わりにサイトを確認した最後の日付を示す。

例:

気象庁 (2007) 気象統計情報. <http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>. (2007.10.28 閲覧)

なお、オンラインジャーナルにおいて、早期公開等の理由により巻・号・ページについて記載が無い文献を引用する場合は、それらに代えて DOI を記述すること。

例:

Wang, C. (2005): A modeling study of the response of tropical deep convection to the increase of cloud condensational nuclei concentration: 1. Dynamics and microphysics. Journal of Geophysical Research, 110, D21211, doi:10.1029/2004JD005720.

4 図・表・写真

- 1) 図はそのまま縮図できるように作成する(図中の文字・数字・記号の大きさ、線の太さ、パターンの細かさ等は印刷後も鮮明に判別できるように縮図を考慮して作成する)。
- 2) 地図には、かならず方位とスケールを入れる。
- 3) 原図は A4 判以内で作成する。
- 4) 図の縮小率は編集委員会で決めるが、希望縮小率を添え書きする。図の刷上りの大きさ

- は、最大見開き頁とする。
- 5) 表組はできるだけ整理したものとする。
 - 6) 左右に長くなる表は、少なくとも見開き頁以内におさまるようにする。
 - 7) 写真は JPEG 形式として、300dpi 以上の解像度とする。
 - 8) 白黒印刷を希望する図・表・写真は、白黒で作成すること。カラー印刷を希望する図・表・写真はカラーで作成し、原稿右上に「カラー原稿希望」と明記すること。カラー頁の印刷費用は著者負担とする。
 - 9) 図・表・写真の挿入箇所は、本文の欄外に明記する。
 - 10) 図・表・写真は、それぞれの番号と著者名を図・表・写真の欄外に明記する。
 - 11) 本文とは別に図表写真リストを作成し、図・表・写真のタイトルと説明文（タイトルに続ける図表写真の補足説明）を記載する。英文要旨を付けた場合、和文及び英文の両方で作成する。

General Guide for Authors of the JOURNAL OF GROUNDWATER HYDROLOGY

Revised March 15, 2013

- 1 Authors** The Journal of Groundwater Hydrology (hereinafter referred to as the Journal) is the official journal of the Japanese Association of Groundwater Hydrology (hereinafter referred to as the Association). The first author of a manuscript contributed to the Journal must be an individual member of the Association. However, this may not apply in cases of contributions invited by the Editorial Board of the Association.
- 2 Review and Publication** Manuscripts submitted to the Journal will be reviewed by reviewer(s) chosen by the Editorial Board. The Editorial Board may request contributors to make revisions where necessary. The final decision of acceptance will be made by the Editorial Board; if accepted, the Editorial Board will send a decision letter to the corresponding author. After receiving the decision letter, authors of the accepted manuscripts are required to send an Agreement of Copyright

Transfer and a Statement of Guarantee signed by the corresponding author. The number of reviewers for each manuscript is described in the appendix.

3 Copyright Copyright of manuscripts published in the Journal (including the rights stipulated in Article 27 and Article 28 of the Copyright law of Japan) belong to the Association.

4 Categories of Manuscripts The Journal publishes manuscripts in the following categories and authors select one from them: Foreword, Review, Original Paper, Rapid Communication, Technical Report, Discussion, Data Note, Talk about Groundwater, Lecture Note, One Point Lecture Note, Technical Visit, Classic & Contemporary Papers, Introduction of Innovative Technologies, Book Review, Summary, Spring, News, and Announcement of the Association. A special issue which includes manuscripts on a specific topic may also be published.

Foreword is a message to members of the Association. This is a manuscript solicited by the Editorial Board.

Review is an overview of an academic, technical or social aspect of groundwater hydrology, including its future directions.

Original Paper is an article describing groundwater hydrological research which has not been published previously elsewhere.

Rapid Communication is a short article presenting original groundwater hydrological research that is fast-tracked for rapid publication.

Technical Report is an article describing technical considerations about field measurements, laboratory experiments, data analysis and/or any kinds of problems in groundwater hydrology.

Discussion is a comment on a published article including Original Paper, Rapid Communication and Technical Report, etc. in the Journal. This is accepted within a year from the publication of the article.

Data Note is the latest compiled data and/or information useful in groundwater

hydrology.

Talk about Groundwater is an essay relating to groundwater hydrology.

Lecture Note presents new techniques or terminologies in groundwater hydrology.

One Point Lecture Note is a lecture note completed in one or a few issues.

Technical Visit introduces places or a research organization of interest for groundwater hydrologists.

Classic & Contemporary Papers is a review of important papers which established the fundamentals of groundwater study.

Introduction of Innovative Technologies is a short report describing a newly developed or developing technology related to groundwater hydrology.

Book Review and Summary is a critique of a foreign or domestic book/article in groundwater hydrology.

Spring (Letter to the Editor) is a letter from readers, and aims to exchange opinion and information among members of the Association.

News is a report about groundwater hydrology, in the Association, in Japan or abroad.

Announcement of the Association is an activity report of the Association.

5 Length of Manuscript and Page Charge Policy The length of a manuscript is limited depending on categories of the manuscript as shown below. Approximately 600 English words are equivalent to one printed page. Authors are requested to pay for excess pages including figures, tables, and photographs. Please refer for details of the page charge to the appendix.

Review, Original Paper and Technical Report: up to 10 printed pages

Rapid Communication, Data Note, Talk about Groundwater and Classic & Contemporary Papers: up to 6 printed pages

Lecture Note and One Point lecture Note: up to 8 printed pages

Foreword: up to 2 printed pages

Technical Visit and Introduction of Innovative Technologies: up to 8 printed

pages

Discussion, Book Review and Summary: one printed page

Spring and News: up to 2 printed pages

6 Abstract and Keywords All manuscripts are required to have a title, authors' names and affiliations in English. Paper, Rapid Communication, Review and Technical Report must have an abstract and keywords in English. The English abstract should not exceed 150 words. The number of the keywords should be 4 to 7.

7 Manuscripts Format All manuscripts must be written in A4 papers, and prepared by using wordprocessing software in the format of 12 pt and 30 lines per page in English.

8 Submission The Journal strongly prefers electronic submissions of manuscripts which are written the following the Style and Notation Guide for Authors of the Journal. Authors shall download Submission Form from website of the Association, and completely fill out the Form. Manuscripts and the Submission Form must be prepared in PDF. Their filenames must include the first author's name. The authors shall send the both files by means of e-mail to Secretariat of the Association (chikasui@nifty.com). The file sizes must be less than 5MB per transmission, or your file will fail to transmit.

In case of postal submission, authors must send a completed Submission Form and three copies of the manuscript including text, figures, tables and photographs to the Secretariat of the Association. The Submission Form is available at the end of the Journal and the website of the Association. The submitted manuscripts will not be returned to the authors. The authors should request to the Editorial Board through the Submission Form if they need their figures and photographs to be returned.

9 Revision The Editorial Board may request the authors to revise text, figures and tables. Although revision of the manuscripts must be done by the authors, the Editorial Board may make additional revision of the manuscripts if necessary. The authors may be charged a fee for revision in such case.

10 Proof Correction The first proof of manuscripts will be sent to the corresponding author. The authors will be requested to return their corrected proof by means of registered post or parcel delivery service by the strict deadline. The second and subsequent proofs will be corrected by the Editorial Board.

11 Offprints The corresponding author of each Review, Original Paper, Rapid Communication, Technical Report, Talk about Groundwater, Lecture Note, One Point Lecture Note, Classic & Contemporary Papers and Technical Visit will be provided with 50 offprints and a PDF file at no cost. The costs of additional offprints and the cover page of the offprint are shown in Appendix.

12 Style and Notation of Manuscripts Style and notation of manuscripts should follow the Style and Notation Guide for Authors described as below.

13 Others For more information, authors may consult the Editorial Board via e-mail.

Appendix

(1) Review

Original Paper and Rapid Communication are peer reviewed by at least two reviewers.

Review, Technical Report, Data Note, Discussion and Introduction of Innovative Technologies are peer reviewed by at least one reviewer.

Other contributed manuscripts are reviewed by the Editorial Board.

(2) Excess page charge ¥10,000/page

The excess page charges are ¥20,000/page when exceed pages are more than twice of the prescribed limits.

(3) Offprints

Additional offprints	Without cover page	With cover page
50	¥ 6,000	¥ 7,500
100	¥11,250	¥14,250
150	¥15,750	¥20,250

(4) Color page charge (to the author)

Printed 1 to 4 pages	¥30,240
Printed 5 to 8 pages	¥60,480

Style and Notation Guide for Authors of the JOURNAL OF GROUNDWATER HYDROLOGY

Revised March 15, 2013

1 Title

- 1) A title is required for all submitted manuscripts. Where related presentations have already been made, names and dates of the academic conferences shall be included as a footnote with an asterisk in the title line.
- 2) Write out the names of all authors, and superscript numbers are put at the name of each author.
- 3) Affiliations should be described in the footnote corresponding to the superscript numbers.

2 Main Body of Text

- 1) Text: Pages and lines must be numbered. Authors who are unsure of correct English usage should have their manuscript checked by appropriate English proofreading service; this is the authors' responsibility. Manuscripts in which the English is difficult to understand may be returned to the authors for revision before scientific review.
- 2) Equations: Sub/superscripts, capital/small letters and italic type must be used clearly and consistently.
- 3) Units: Standard International (SI) units, such as m, kg, and m³/s, should be used. Conventional units frequently used in groundwater hydrological studies are also acceptable.

3 References

- 1) Reference style: Each reference should be cited in the text as the author's name and the year of publication within brackets. In case two (three or more) authors are listed in the reference list, the authors' names must be cited in the text as both authors' names (the first authors' name followed by "et al."). For example:
 "as demonstrated (Kurata et al., 1985; Shibasaki, 1986; Domenico and Schwartz, 1990; Tyler et al., 2000). According to Toth (1963), Hanya and Ogura (1985) indicate that ..."
- 2) Reference list: References should be arranged alphabetically and then further sorted

chronologically if necessary. More than one reference from the same author(s) in the same year must be identified by the letters "a", "b", "c", etc., placed after the year of publication. The style in reference list must be arranged as following order: Names of the authors (the year of publication): Title, name of journal, the number of volume (issue number), the first page-the final page. For example:

Kurata, N., T. Ando and K. Mori (1958):

Small scale regional survey report on water source for industrial use in Johnan, Tokyo – Regional survey on West Kanto, the sixth report – (in Japanese). Bulletin of the Geological Survey of Japan 6(8), 9–22.

Shibasaki, T. (1986): Groundwater, In Limnology (in Japanese), S. Yamamoto (Ed.), Kyoritsu Syuppan, 260–299.

Hanya, T. and N. Ogura (1985): Methods of Water Quality Survey, 2nd Edition (in Japanese). Maruzen, 378p.

Domenico, P.A. and F.W. Schwartz (1990): Physical and Chemical Hydrogeology. John Wiley & Sons, 336p.

Toth, J. (1959): A theoretical analysis of groundwater flow in small drainage basins. Journal of Geophysical Research, 68(16), 4795–4812.

Tyler, B.C., A.L. Herczeg and C. Barnes (2000): Isotope engineering – Using stable isotopes of the water molecule to solve practical problems. In Environmental Tracers in Subsurface Hydrology, P. Cook and A.L. Herczeg (Eds.), Kluwer, 79–110.

- 3) Web references: Web pages can be referred, but they shall be limited to information with high publicity such as documents or databases supplied from public organization. The full URL and the last date to the reference was last accessed should be given. For example:

Japan Metrological Agency (2007): Metrological data set. <http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>. (Inspected on October 28, 2007)

- 4) Reference of articles in press: Articles in

press can be referred by using Digital Object Identifiers (DOIs) instead of the number of volume, issue number, and the first page-the final page. For example:

Wang, C. (2005): A modeling study of the response of tropical deep convection to the increase of cloud condensational nuclei concentration: 1. Dynamics and microphysics. Journal of Geophysical Research, 110, D21211, doi:10.1029/2004JD005720.

4 Figures, Tables and Photographs

- 1) Letters, numbers, symbols, lines and patterns of figures must be large enough to be clearly visible after reduction for printing.
- 2) Every map figure must include a metric scale bar and a north arrow, or latitude-longitude designations.
- 3) All figures must be submitted on A4 paper.
- 4) Authors may specify desired reduction ratio for each figure on the outside, although the Editorial Board will make the final decision of the reduction ratio. The maximum allowable size of a printed figure is two full pages.
- 5) Tables should be well organized and summarized.
- 6) Width of a table should not exceed two pages.
- 7) Photographs should be converted to JPEG format, and the minimum resolution of 300dpi is required for printing.
- 8) Figures, tables and photographs should be prepared in monochrome. If authors request that their figures, tables and photographs are printed in color, they should be prepared in color. Additionally, write "color printing" on top right of them. Charge for color printing shall be borne by the authors.
- 9) Authors must describe places where figures, tables and photographs should be inserted on margin of the text.
- 10) Numbers of figures, tables and photographs along with authors' names should be written on the margin of each drawing.
- 11) Captions should be listed on a separate sheet in order of figures, tables and photographs.